

「かちどき 橋の資料館」のご案内

中央区築地と月島を結ぶ勝開橋。その橋のたもとにある「かちどき 橋の資料館」では、勝開橋を動かしていた当時の発電設備をそのまま展示しているほか、動く勝開橋の模型、映像コーナー及び資料閲覧コーナーをご用意して、皆様のご来館をお待ちしております。

また、毎週木曜日には勝開橋の橋脚内の開閉装置（機械設備）を説明者と一緒に見学できる「橋脚内見学ツアー」も大好評開催中です。（要予約・無料）

橋脚内部の様子を360°パノラマビューでご覧いただくことで、見学ツアーの疑似体験ができる、「橋脚内バーチャル見学ツアー」も道路整備保全公社のHPで公開しています。

【かちどき 橋の資料館】

- 住所 中央区築地六丁目20番11号
- 開館日 火・木・金・土曜日（12/29～1/3を除く）
- 開館時間 9時30分～16時30分（12/1～2/28は9時～16時）



【資料館内の様子】

【橋脚内の様子】



【動く 勝開橋の模型】

【かちどき 橋の資料館外観】

【かちどき 橋の資料館に関すること】

道路管理部保全課
橋梁保全担当 TEL:03-5320-5295
<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/road/kanri/gaiyo/kachidoki/index.html>



【橋脚内見学ツアーに関すること】

公益財団法人 東京都道路整備保全公社
総務部公益事業課 TEL:03-5381-3380
https://www.tmpc.or.jp/06_info/kachidoki.html



特集

春夜の六義園 夜間特別観賞

六義園の春の風物詩として親しまれている園内ライトアップイベント「春夜の六義園 夜間特別観賞」を開催いたします。

今年はしだれ桜の開花状況にあわせて、3月中の連続した7日間に実施予定です。

通常はご入園いただけない夜間に特別開園し、六義園のシンボルともいえるしだれ桜を中心に、中の島、ぎんかていあと すいこうのえ吟花亭跡、水香江など各スポットをライトアップします。また、岩崎家時代に建てられた土蔵壁面へのプロジェクション投影や、フォトスポットを設置するなど、春の夜の風情をご堪能できるイベントとなっています。

開催期間 しだれ桜の開花状況に合わせて
3月14日(金)～3月30日(日)のうち連続した7日間※詳細日程は開催の約一週間前の決定を予定しています。

入場方法 入場には夜間特別観賞券が必要です。
混雑防止のため、1日の販売枚数に制限があります。

- (1)前売券 【価格】900円(税込)
 - ・オンライン販売
- (2)当日券 【価格】1,100円(税込)
 - ・窓口販売(現金のみ)
 - ・オンライン販売

詳細は特設HPをご確認ください。

https://www.tokyo-park.or.jp/special/rikugien_lighting_spring/index.html



特設HP

問合せ先

六義園サービスセンター

TEL：03-3941-2222(9時～17時)



中の島の様子（過去開催時）



土蔵壁面へのプロジェクション投影（過去開催時）

建設局クイズ 1年間で公共事業のために取得した土地の面積は？

問題

道路や河川、公園の整備を進めるためには、計画的に事業を行うための土地を確保していく必要があります。さて、そこで問題です。令和5年度の1年間で取得した土地の面積は、令和7年11月開催の東京2025デフリンピック開会式が行われる予定の東京体育館(約44,000㎡)に換算すると約何個分になるでしょうか？

- ① 1個分
- ② 3個分
- ③ 5個分

正解

正解は② 3個分
令和5年度は、約145,980㎡の土地^(※)を取得しており、これは東京体育館に換算すると、約3個分の面積になります。
関係権利者お一人おひとりご理解とご協力を得て取得させていただいたこれらの用地は、東京の大切な都市インフラ施設として整備し、未来に残していきます。
^(※) 建設局用地部が所管する道路、河川、公園の整備に必要な土地



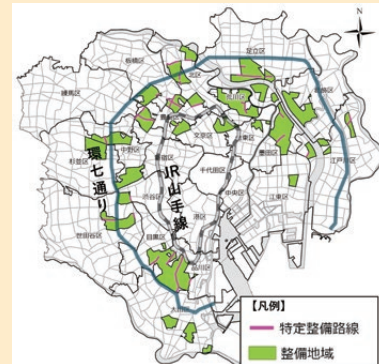
舎人公園

木造住宅密集地域を改善する、命を守るみち ～特定整備路線の整備推進～

現状

東京には、JR山手線の外側から環七通り沿いに木造住宅密集地域(木密地域)が広範に分布しており、次のような課題を抱えています。

- ・老朽化した木造住宅が多いことなどから、地震火災など大きな被害が想定されています。
- ・狭あい道路や行き止まり道路が多いことから、消防活動等に支障をきたすおそれがあります。



震災時に特に甚大な被害が想定される木密地域(整備地域 約6,000ha(緑色箇所))



木造住宅密集地域の現状

取組

・首都直下地震の切迫性などを踏まえ、木密地域における都民の生命と財産を守るため、「燃えない・燃え広がらない」まちづくりに取り組んでいます。

・燃え広がらないまちを実現する**特定整備路線**は、**市街地の延焼を遮断**するとともに、**避難路や緊急車両の通行路**ともなる重要な道路であり、全28区間、約25kmで整備を進めています。

特定整備路線の防災上の効果



市街地の延焼遮断



緊急車両等の通行路及び避難路の確保

① 燃え広がらない安全なまちが形成されたと思う	Yes	71%	No
② 救急・救命活動がしやすくなったと思う	Yes	81%	No
③ 安全な避難路ができたと思う	Yes	75%	No

沿道地域の方々が整備効果を実感！
アンケート結果より(補助第26号線(三宿))

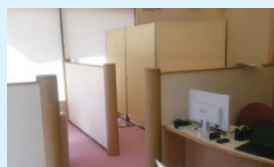
用地取得における生活再建支援策

- ・東京都では、民間事業者のノウハウを活用した相談窓口の設置に加え、相談窓口への来所が困難な方を対象とした訪問型の生活再建支援や公的住宅等を活用した移転先の確保など、関係権利者の生活再建をきめ細かく支援しながら用地取得を進めています。

<放射第2号線(西五反田)相談窓口>



相談窓口外観



相談スペース



<字幕あり> <https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/9vmzlpkike8.html>
<字幕なし> <https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/qg5juqtizue.html>

事業の進捗

- ・令和3年3月に足立区の補助第136号線(関原・梅田)、令和4年10月には世田谷区の補助第26号線(三宿)が交通開放しました。補助第26号線(三宿)において、交通開放後のアンケート調査を実施したところ、多くの方から地域の防災性が向上したとの評価を頂きました。
- ・また、事業の途中段階においても、避難路ともなる暫定的な歩行者空間や緊急車両の仮設通行路を整備する取組も行っています。



特定整備路線の整備状況(補助第26号線(三宿))



事業用地の有効活用(緊急車両の仮設通行路)(補助第29号線(戸越))

特定整備路線に関する動画はこちら！

問合せ先 道路建設部街路課 TEL：03-5320-5346
用地部用地課 TEL：03-5320-5261

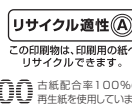
東京都建設局 ご意見・ご感想は下記担当までお寄せください。

- 編集発行者／東京都建設局総務部総務課広報担当
〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 TEL 03-5320-5212
eメール S0000397@section.metro.tokyo.jp
- 登録番号 (6) 54 ●発行／2025(令和7)年2月
- 印刷／光栄印刷(株) ●制作協力／パール商事(株)

📄 これまでに発行した資料は建設局HPからご覧いただけます。



バックナンバー 建設局HP X(旧Twitter) Facebook



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルされています。 古紙配合率100%の再生紙を使用しています